

平成最後の年、ますます安全に気をかけて

いよいよ平成最後の年を迎えました。今年も船橋夏見特別支援学校安全教育部は「安心・安全な学校」を目標に取り組んでいきますのでよろしくお願いいたします。船橋夏見特別支援学校は開校して来年度で 5 年を迎えますが、校舎の築年数は 43 年になります。開校にあたりきれいになった部分もありますが、高校時代の名残で使いにくかった場所もいくつかありました。安全教育部では、それらを解消できるようにいろいろな手段を講じてきました。今回はその中から二点紹介させていただきます。

一点目は校内にあった段差です。体育館の出入りにスロープがあるをご存知でしょうか。スロープがない状態で車いすをこいでみると段差でかなりの衝撃を受けます。スロープがあることで、車いすを自走している生徒も自分一人で行くことができるようになっていました。実はあのスロープ、職員の手作りなのです。外に置いてあるため劣化してしまうので頃合いを見て作り変え、いつでも安心して通行してもらえるようにしています。

二点目は生徒棟から食堂へと続く通路の出入り口の上です。校舎とは別に後から食堂へ続く通路ができた関係で、上を見ると隙間が空き、雨が降ると上から垂れてきてしまう状態でした。開校当初からカバーをかけてしのいでいましたが、この秋にしっかり固定をして、水に濡れる心配はなくなりました。

本校には高等部職員室前に「船橋夏見ハザードマップ」が置いてあります。これは、職員それぞれが校内の気になる場所を記入できるボードです。小さなことでもそれが重大な事故になってしまったら大変です。小さなことでも大きなことでも学校安全に不安が残らないように職員一同より一層安全に気を付けて取り組んでいきたいと思っています。

船橋夏見 安全新聞



船橋夏見ハザードマップ



体育館出入り口スロープ



食堂へ続く通路の屋根



朝晩の冷え込みも次第に強くなってきました。車で生徒を送迎される保護者にとつては路面凍結が心配になる季節ではないでしょうか。スタッドレスタイヤを履いていても凍結は怖いですが、ね。校門の坂道も凍結してしまいうことがありません。必要に応じて融雪剤等を散布しますが、敷地内は徐行運転をお願いいたします。

発行
千葉県立船橋夏見特別支援学校
安全教育部
TEL 047-429-6699
FAX 047-438-2099
E-mail f-natsumi-sh@chiba-c.ed.jp

火災想定避難訓練を行いました

年に 2 回ある消防署と連携した避難訓練です。今年度はこれが最後でした。訓練は実際に防火扉やシャッターを降ろした状態でより本当の避難に近い形でおこないました。警告音や警報音が鳴り響く校内は緊迫感にあふれていましたが、滞りなく全員避難することができました。

また避難訓練に合わせ、本校に 2 台あるジェットヒーター（大型暖房器具）の点検をしました。火事や火傷事故を起こさないように職員間で使用ルールを確認しました。室内と廊下などとの寒暖差がかなりありますのでヒートショックを起こさないように適正に使用していきたいと思っています。



本校には、災害時など一般電話回線がパンクしてしまった時にも本校からの発信のみ優先的に利用できる「災害時優先電話」があります。これは、災害時の援助、復旧や公共の秩序を維持するために、法律に基づいて N T T グループが提供しています。主に提供されている場所は公的機関です。また、通信社や新聞社、放送事業者、ライフライン関係各所に設置されています。発信が優先的にできるだけで、着信は一般回線と同様です。災害時に学校に電話するときは通常通り、047-429-6699 へおかけ下さい。

災害時優先電話

ご存じですか